

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	文章表現		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	402号室
担当教員	大島 行博	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>入学後の実習、入職後の職場等では、各種コミュニケーションの力が求められる。本授業では、特に文章による表現力を高め、自らの考えを相手に性格に伝えることや、相手の意見を的確に理解・把握する力の向上を目指す。一斉授業を中心としながら、グループワークによる協働作業も取り入れながら、文章による表現力の基礎的能力を養う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>・期末試験(筆記試験76%)、課題・小テスト・模擬検定20%、平常点(態度・準備)4%で評定する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本漢字能力検定協会「基礎から学べる 文章カステップ3級」						
《授業外における学習方法》						
授業で行ったテキスト課題の復習。						
《履修に当たっての留意点》						
本、新聞など、日常的に文章を読む時間を持つよう心がけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① ことばや文の基礎を正しく理解することが出来る。		教科書	【事前学習】シラバスを読む(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)	
	各コマにおける授業予定	表現力向上の必要性について学ぶ				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① ことばや文の基礎を正しく理解することが出来る。		教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)	
	各コマにおける授業予定	作者の意図を正確に読み取り、それを言葉・文章で説明する。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	② 事実と意見を分けて考えることが出来る。		教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)	
	各コマにおける授業予定	事実と意見を分けて考え、論理的な文章の構成を説明する。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	② 事実と意見を分けて考えることが出来る。 ③ 事実に基づく根拠をふまえながら意見をまとめることが出来る。 ④ 実習ノートの形式で適切に文章を書くことができる。		教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(20分) 【事後学習】ブレインストーミングについてふりかえりを行う(40分)	
	各コマにおける授業予定	ブレインストーミングの方法を理解し、具体的な事実を必要に応じて思い出す。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	② 事実と意見を分けて考えることが出来る。 ③ 事実に基づく根拠をふまえながら意見をまとめることが出来る。 ④ 実習ノートの形式で適切に文章を書くことができる。		教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)	
	各コマにおける授業予定	「一文一意」の原則を理解し、わかりやすい文を書く。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	② 事実と意見を分けて考えることができる。 ③ 事実に基づく根拠をふまえながら意見をまとめることができる。 ④ 実習ノートの形式で適切に文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】これまでの学習内容について調べる(40分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(20分)
	各コマにおける授業予定	意見文の構成を理解した上で、実際にわかりやすい文章を作成する。(小テストを実施する。)		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑤ 敬語表現について理解し、正しく使用することができる ⑥ 礼状をはじめ様々な手紙文の構成を理解し、自分の考えや気持ちを効果的に伝えることができる	教科書	【事前学習】手紙の書き方について調べる(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	一般的な手紙の書き方について理解を深め、実際に作成する。		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑤ 敬語表現について理解し、正しく使用することができる ⑥ 礼状をはじめ様々な手紙文の構成を理解し、自分の考えや気持ちを効果的に伝えることができる	教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	公的な手紙の書き方について理解を深め、実際に作成する。		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑤ 敬語表現について理解し、正しく使用することができる ⑥ 礼状をはじめ様々な手紙文の構成を理解し、自分の考えや気持ちを効果的に伝えることができる	教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	これまでの手紙の書き方の学習をもとに、実習先に対する礼状を作成する。		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	文章作成演習① これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書く。		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	文章作成演習② これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書く。		
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	文章作成演習③ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書く。		
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】前回の学習内容を確認しておく(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	文章作成演習④ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書く。		
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】第1回から13回までの振り返り(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	「文章読解・作成能力検定4級」演習① 過去問による模擬検定を行う		
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦ これまでの学習の内容を総合しながら、論理的な文章を書くことができる。	教科書	【事前学習】第1回から13回までの振り返り(30分) 【事後学習】テキスト課題の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	「文章読解・作成能力検定4級」演習② 過去問による模擬検定を行う		